



福井



めぎす子ども像
豊かな心を持った子
進んで学ぶ子
最後までやりぬく子

〒684-0404
海士町福井394番地2
TEL08514-2-0750
FAX08514-2-0790
Mail
fukui0750@gmail.com

いい声、いい顔、いい汗 小体連バスケット大会

「六月一八日に知夫小中学校の体育館で第四回島前バスケットボール大会が行われました。」

この日に向けて子どもたちは、キャプテンの寿也さんと奈津子さんを中心に、放課後遅くまで一生懸命に練習してきました。練習スタート前には、六年生を中心にどんなバスケット大会にしたいのかを考えました。勝つにしても負けてもどんな時でも精一杯頑張りぬくこと」が決まりました。そのめあてを達成するために普段の練習を頑張つていくことも確認しました。



掛け合う姿が練習でも見られるようになってきました。

大会当日は、大勢の応援に見守られる中、選手一同は、全力でプレーをするだけでなく、ベンチや二階のギャラリーからも大きな声で応援し、みんなががんばりました。男女ともに優勝という目標に向かってがんばっていました。

女子も男子も惜しくも三位という結果に終わりました。子どもたちは、日に日に、よづレーができるようになり、バスケットというスポーツを楽しむことができているように感じます。試合で負けた悔しさやバスケットボールの持つスポーツの楽しさを感じた子どもたちは、大会が終わった後も休憩中にバスケットをする姿も見られます。心に残る大会となりました。



保護者の皆様、地域の皆様には、大きな声援と励ましをいただきありがとうございました。
(文責 福島)

隠岐の自然を満喫 遠足

一・二年生

明日は晴れるかな...とムラムラしながら遠足の約束の確かめをした前日。どんよりとした曇り空を眺めながら、みんなでテルテル坊主を作つてテラスに飾りました。テルテル坊主、テル坊主、明日天気になってくれよ」と、やっぱり、テルテル坊主は効き目抜群ですね。天候の心配をしつつ予定通り国賀遠足へ出かけることができました。

途中で雨が降るんじゃないかと心配しながら、出発したのですが、遠足に大喜びしている子ども達に天気は味方してくれました。結局、ほどよい日差しを浴びながら楽しく一日を過ごすことができました。

今回の遠足は、様々な体験活動を組み込んだ日程を組みました。内航船乗船買い物体験、遠足のおやつはこの買い物で賄いました。路線バス乗車...。一年生は、一つ一つの体験にドキドキ。二年生は、一年生にアドバイスしながらワクワク。それぞれの場面ではじめての遠足を楽しむ一年生らしき、二回目の遠足に余裕を見せる二年生らしき表れ、ほのぼのとした雰囲気の中で、一つ一つの体験を進めていくことができました。



でも、やっぱり遠足の醍醐味は、疲れても疲れても歩き続けること、おいしいお弁当でおなか一杯になること、そして、隠岐の自然を楽しむことですね。国賀の絶景をバックにベストショットもバッチリ撮れました。自由時間には、岩山に登ったり、海辺でアイナをとったり、ペコを捕まえたり。さすが、隠岐の子！と思わせる遊びっぷりになったかホッとしました。帰りは隠岐観光さんの粋な計らいで、ベタ風の国賀の海を観光客並みに満喫することもできました。盛りだくさんの遠足で、盛りだくさんのエネルギーを存分に発揮した一・二年生です。

(文責 山下則)

三・四年生

三、四年生は、知夫の赤はげ山に登りました。朝の不安定な天候に不安を感じていましたが、山に登るにはちようどよく、山頂からは三島を見渡せ、素晴らしい見晴らしでした。赤はげ山は、なかなか厳しい登りでしたが、足が進まない友だちを後ろから押ししたり、励ましたりしながら、誰もが離れることなく、全員でたどり着くことができました。

頂上ではジオパークについての話をガイドの方にしていただきました。帰り道は、頂上から来

五・六年生

五・六年生は、レインボージェットにのって、島後遠足に行つてきました。現地のガイドさんの案内で、神社、億岐家、隠岐の杉を見学し、そこにも受け継がれる伝統と大自然に圧倒されました。バスで中村を経由し



て最北端の白島展望台へ、子どもたちはバスから降りると、遊歩道をかけ下り、灯台へ、島前との規模の違いを体全体で感じていたように思います。海岸沿いでお弁当を食べた後は、今回の遠足のメインイベントである、シーカヤックに挑戦です。初めての子どもがほとんどの中、現地のスタッフにオールの持ち方からこぎ方まで丁寧に教えて頂きました。子どもたちは、カヤックの上から海の中をのぞき込んだり、目の前に迫る岩肌や上から流れ落ちてくる滝に近づいてみたり、思い思いに船を進めました。

この大きな隠岐の島町を一日ではほぼ一周と、とても駆け足な遠足でしたが島前とは少し違う、隠岐の魅力に浸ることでできた一日でした。
文責 吉井

校内俳句教室

六月一五日に第一回全校俳句教室」を行いました。地域講師として、村上助九郎氏、笹鹿岳志氏に本校にたきました。この活動のねらいは次の通りです。

- ①自然を身体 五感で感じる。
- ②感じたことを言葉で表す。

豊かな自然に囲まれた子どもたちが、身体で周りの自然を感じ、自分のことばで豊かに表現することをねらいとしています。

当日は、天候にも恵まれ、学校の周りを歩きながら、全員が一句以上俳句を作りしました。

作った俳句は、各学級ごとに優秀作品を選び、低学年は担任、中学年は笹鹿岳志氏、高学年は村上助九郎氏)ました。第一回俳句大賞」に選ばれたのは、次の作品です。



一年生 ばすけでくねんせいがんばつて

二年生 あかてがにつかまえにくい手ごわいな

三四年生 田んぼのね水とういつばいそだつてる

田んぼにねかにか死んでるかわいそう

ひまわりがハウセンカとね混ざつてる

五六年生

あかてが道路を渡り海行く

五十島麟信

泥遊び泥にまみれてかくれんぼ

淀 翔瑠

俳句教室のときだけでなく、日常的に俳句を作ることを目指してがんばっています。



五六年生の紹介

五六年生は、五年生が六名、六年生が九名の一五名の複式学級です。四月にこのクラスがスタートしてから三か月がたちました。四月当初には、今年の福井小学校をどんな学校にしたのかを考え、全校が笑顔になる「にこ学校」という児童会のテーマが決まりました。

昨年度の活動をもとに、今年度新たなアイデアを盛り込み、「にこ学校」をめざします。春休みから練習してきた全隠岐陸上大会に向けては、大会本番には何が起るかかわからないので、結果よりも過程を大切に、練習を精一杯頑張り、大会に臨もうと決め、練習に励みました。先日行われたバスケット大会でも同様です。この三か月の様子から感じるのは、二学年が同じ教室にいる複式学級の良さです。常に上級生のやっていることを間近で見ることが翌年の経験につながります。先日バスケット大会の反省をクラスで行いました。



六年生一人一人に良かったことや、もう一度バスケット大会があるなら、今度は何回か大会をどのよう

に生かしていくか?ということとを考え、発表してもらいました。そこで出た考えが、五年生が来年度の大会に向けて来年頑張っていくことの課題となるのです。経験の引継ぎができるのがこの複式学級の良さだと感じ、今後も協力する中で六年生は頑張る姿を五年生に示し、五年生

はその姿を見て学ぶことを意識させていきたいです。少し大人な六年生とまたまたあどけなさの残る五年生と、カラーの違う二つの学年が融合することで、「感じ」で楽しい一年間となるよう見守ってまいります。

(文責 福島)

サツマイモ苗差し

五月二五日(水)に今年も畑にサツマイモの苗を植えました。

準備や片付けは五六年生が中心となつて進め、たてわり班で活動しました。上級生が下級生に植え方を教える姿や一緒に水をやるなど、協力して200本の苗を植えました。秋の収穫まで草取りなどもありますが、大きなきさまいもができることを願っています。



(文責 中村)

プロジェクトチーム始動

(文責 兵馬)

- ①豊かな心を持った子(プロジェクト)
- ②進んで学ぶ子(学力アップ)
- ③最後までやりぬく子(パワーアップ)

この子どもの姿に近づけるために、今年度もプロジェクト(PJ)チームを結成しました。そして定期的にPJチームを集まり、活動計画を策定し、実践をしています。

六月一〇日には、県の保健体育課の方にもお越し頂き、パワーアップPJが計画した元気アッププログラムを行いました。子どもたちが縦割り班で楽しみながら体力の育成を図ることができ、運動プログラムです。異学年

の交流 結束にもつなげようと考えています。年間を通して、継続して頑張ります。



七八月の主な行事

- 【七月】
 - 一日(金) 歩くんジャー2(五六年生)
 - ※通学合宿(四年生)〜二日(土)
 - 五日(火) マロン大会 PTA理事会
 - 七日(水)七夕読み聞かせ
 - 八日(金)漢字検定 大掃除
 - 九日(土)親子活動(三四年生)
 - 一日(月)漢字計算大会 大掃除
 - 二日(火)個人面談(一五日(金))
 - 一六日(土)PTA救命救急法講習会
 - 親子活動(二年生)
 - 二〇日(水)一学期終業式
 - 二七日(水)〜八月一日(月)
- 【八月】
 - ※アドベンチャーキャンプ
 - 二五日(木)二学期始業式 映画氷川丸
 - 二六日(金)陸上指導(根本先生来校)
 - 二七日(土)キンニモチ式祭りパレード参加